

ヨコハマラバー(タイランド)カンパニーLTD. CSRレポート

事業内容: 自動車窓枠用シーリング材の生産・販売、油圧ホースアセンブリーの販売
 敷地面積: 25,000m²
 従業員数: 103人(2009年6月末現在)
 所在地: Eastern Seaboard Industrial Estate, 64 moo 4 Tombol Pluakdaeng, Ampur, Rayong
 21140, Thailand
 TEL+66-38-954-625



社長ご挨拶



齋藤 知二

ヨコハマゴム(タイランド)は、タイの首都バンコクから南東130キロに位置する工業団地の中に工場があり、主に自動車用油圧ホース配管、自動車用ウィンドウシールドシーラント、建機用高圧ホースを製造し、東南アジア一円に供給しています。特にタイ国内における横浜ゴムの自動車用パワステホースならびに建機用高圧ホースのOE向けシェアはほぼ100%を誇り、地域に大きく貢献しています。また、工場における大気、

水質、騒音などの環境面では、2007年度は工場団地基準を外れた油脂分について、2008年度に排水のフィルター処理、油処理バクテリアの定期添加などを実施し、全項目でクリアしました。さらに、当社工場は安全と

2009年度環境方針

- (1) 環境関連法令の順守を基本とする。
- (2) 環境汚染に関し、大気や水質への汚染防止に努める。
- (3) 環境方針と環境教育を全ての従業員と地域で共有する。
- (4) エネルギーと環境資源を大切に使用する。
- (5) 横浜ゴムグループの中期経営計画「GD100」の環境対策に従い、
 - ・環境経営を継続的に改善します。
 - ・地球温暖化防止に取り組みます。
 - ・持続可能な循環型社会実現に貢献します。

品質を第一のモットーにしており、従業員が100人強の少人数ではありますが、この4年間完全無事故無怪我を継続しています。今後の課題は、産業廃棄物の再資源化率の向上であり、「日本に追いつけ追い越せ」をスローガンに、まず「ゼロエミッション」を推進します。

主な地域との交流活動

タイの寺院が行っているHIV患者の救済運動への協力として寄付を行ったほか、2008年12月にダウン症の子どものための福祉施設に従業員が慰問し、プレゼントや寄付を行いました。



ダウン症の子どもの福祉施設で記念撮影

環境データ (年度は2006年度、2008年度は1~12月、2007年度は4~3月)

項目	2006年度	2007年度	2008年度
廃棄物発生量(トン)	231	299	223
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	0.7	0.8
	燃料	36	94
	合計	36.7	94.8
温室効果ガス排出量(トン-CO ₂)	98	265	325
水使用量(千m ³)	4.7	4.9	7

※2007年度までの温室効果ガス排出量の算定は、電力排出係数:0.555kg-CO₂/kWhを使用

※2008年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用



「YOKOHAMA千年の社」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の全生産拠点に合計約50万本の植樹を行い「社」を作るプロジェクトです。2007年11月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートしました。

■ 2009年9月:第1期植樹会(350名参加、3,500本植樹)

